

7/13

JR東日本輸送サービス労働組合 新幹線地方本部

「第2回定期大会」開催!

大会宣言(案)

私たち新幹線地方本部は本日、赤羽事務所会議室において第2回定期大会を開催し、結成から1年のた

たかひの成果と教訓、向こう1年の運動方針を満場一致で確認した。
結成以降、新幹線に携わる私たちにとってまさに激動の年であった。それは結成から間もない2024年9月19日、東北新幹線古川～仙台間ではやぶさ・こまち6号が日本の新幹線では前代未聞である「列車分離」が発生したことであり、誰もが耳を疑った。その半年後の3月6日、またしても東北新幹線上野～大宮間で二度目の列車分離が発生し国土交通省より重大インシデントに指定された。あつてはならないことが連続して発生したまさに「新幹線の非常事態」だ。また、6月17日にも東北新幹線E8系で車両故障が同時多発した他、これまでも立て続けに新幹線に関連した重大事故・事象による輸送障害の連鎖が後を絶たない。申11号「新幹線で繰り返し発生する事故・事象に対して安全と安定輸送を確保し失墜した信頼回復のための緊急申し入れ」の団体交渉で、二度の分離事故のこまち側の分併制御盤が同一であったことを会社も認めた。しかし、会社は団体交渉終了後に「運輸安全委員会の調査中であり、口外しないほしい」と窓口間で協約や就業規則に抵触する等を主張し、さらに会社は団体交渉の議論内容を基に発行した地本情報に対し、事実と全く異なる「社員の皆さんへ」を全職場に掲出し、輸送サービス労組を名指しで批判する悪宣伝を行った。会社によるこれらの一連の対応は、労使対等の原則とはかけ離れた自己保身・隠蔽体質の経営であり、労働組合の正当な運動に対する妨害行為の支配・介入の不当労働行為である。地本は、この事実を捻じ曲げ輸送サービス労組を誹謗中傷した「社員の皆さんへ」の即時撤回を求める緊急申し入れを提出し、直ちに団体交渉を行う。一方、職場では5月14日に東京新幹線車両センター庫内で事故停電が発生し、会社は事象の詳細を現場社員に説明せず、会社による隠蔽体質が現場でも現れている。原因究明と再発防止策を講じるうえで大切なことは、会社は隠蔽することなく全て明らかにすることであり、それが信頼回復につながるのだ。

5月7日に「JR東日本のさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」が提案された。労働者の視点から持続的成長を遂げていくためには何が必要で、何をなすべきかを考え、生涯にわたる雇用、生活、賃金、働き方を規定し、職場の声を集約し第二次解明申し入れと基本要求进行。私たち力によってつくり上げよう。

今年は御巣鷹山墜落事故から40年、羽越線脱線事故、福知山線脱線事故から20年の節目の年だ。当時のJR西日本の経営は第一に「稼ぐ」が至上命題化され、安全よりも営利優先の経営の中、あの悲劇が起こった。あれから20年後、現在のJR東日本はどうだろうか。新幹線統括本部長のメッセージで「～新幹線を止めない、遅らせない、稼ぐことにこだわっていきましょう～」が掲げられている。まさに、安全よりも利益優先の経営姿勢が明確であり、過去の教訓から何も学んでいない。その証左がこれまでの新幹線の数多くの事故・事象につながっていると規定するべきだ。また「列車は分離したが安全上問題ない」と団体交渉の場で平気で述べ、この重大さを一切受け止めない経営姿勢はまさしく「福知山線事故前夜」であり、JR東日本の安全は危機的状況だ。この経営体質を正し、安全で安心して働ける職場の構築と健全なJR東日本をつくり上げるためにも、新幹線地本は社友会では果たすことなど出来ない団体交渉権を活用し、職場で発生する問題を即時に解決を図っていく。そして労働組合としての「経営のチェック機能」を果たしていく。そのためにも職場から声をあげ続けていこう。

輸送サービス労組結成から5年。私たちは、すべての仲間のために存在する労働組合であり、苦しむ仲間を置き去りにすることなど絶対にしない。培った5年間の運動に自信と確信を持ち、未加入者に「社友会では安全・労働条件は絶対に守れない」ことを訴え、輸送サービス労組の運動の正しさと必要性を実感してもらい「輸送サービス労組に加入しよう」と堂々と訴えながら、組織の強化拡大を実現しようではないか。働きがい、生きがい、心の豊かさを実感できる職場風土の構築と「真の笑顔と活気あふれるJR東日本」を実現するその日まで、新幹線地本に結集するすべての仲間の力でたたかいをつくり出していこう!

以上、宣言する。

2025年7月13日
JR東日本輸送サービス労働組合
新幹線地方本部第2回定期大会

大会宣言を満場一致で可決!

団体交渉権を活用し、職場で発生する諸課題を即時に解決することを図り
労働組合としての「チェック機能」を果たしていく!
培った5年間の運動に自信と確信を持ち、組織の強化拡大を実現しよう!